



ROYAL

ロイヤルホールディングス株式会社



日本で一番質の高い“食”&“ホスピタリティ”グループへ

第65期 株主の皆様へ

2013年1月1日 ▶ 2013年12月31日

証券コード●8179

ロイヤル経営基本理念

ロイヤルは食品企業である。
 お客様から代金を頂くからには、
 一、食品は美味しくなければならない。
 一、調理・製造も取扱いも衛生的でなければならない。
 一、サービス販売は、お客様の心を楽しませ、
 社会を明るくするものでなければならない。
 以上のつとめを果たす報酬として、正当な利潤を得られ、
 ロイヤルも私共も永遠に繁栄する。

1956年(昭和31年)6月制定

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

「第65期 株主の皆様へ」をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

当社グループが主力とする外食事業を取り巻く環境は、消費マインド改善の傾向がみられるものの、顧客確保のための企業間競争が激化するなか、コスト上昇が重くのしかかるなど、引き続き厳しい経営環境にあります。

このような環境下ではありますが、平成25年度は、おかげさまで17年ぶりに2期連続で増収増益を果たすことができました。当社グループは、日本で一番質の高い“食” & “ホスピタリティ”グループを目指し、中期経営計画「Fly to 2014」の最終年度となる平成26年度

におきましても、増収増益基調をより確かなものとするべく、引き続き経営基本理念の実践に努めてまいります。

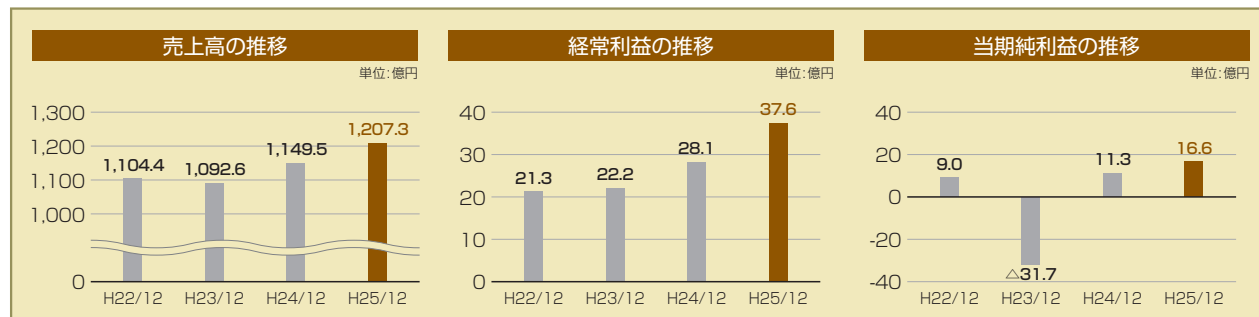
また、株主の皆様への長期的かつ安定的な利益還元を経営の基本方針として位置付けるとともに、業績や経営環境との連動を図ってまいり、この方針のもと、諸情勢を勘案し、平成25年度の1株当たりの年間配当金を前期に対して2円の増配となる14円にいたしました。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成26年3月
 代表取締役社長 菊地 唯夫



連結決算ハイライト



当社グループでは、今後見込まれる経営環境の変化と外食産業の構造的課題を踏まえ、平成23年11月に持続的な成長を基本方針とした中期経営計画「Fly to 2014」を策定いたしました。

その2年目にあたる平成25年度におきましては、「成長戦略の確実な実施」をキーワードに6つの事業戦略①「ロイヤルブランドの再構築」②「成長エンジンの育成」③「収益基盤の拡大」④「時代対応業態の開発と進化」⑤「事業開発機能の強化」⑥「M&Aの活用・海外への進出」と2つのインフラ戦略①「インフラの強化とグループシナジーの追求」②「効率経営体への転換」を骨子とした各種経営

施策を着実に進めてまいりました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は120,730百万円（前年同期比+5.0%）、営業利益は3,498百万円（前年同期比+33.4%）、経常利益は3,761百万円（前年同期比+33.5%）となり、いずれも前連結会計年度を上回りました。また、特別損益として受取補償金など総額210百万円を特別利益に、固定資産除売却損315百万円など総額675百万円を特別損失に計上したほか、法人税等1,562百万円を計上し、当連結会計年度の当期純利益は1,663百万円（前年同期比+46.3%）となりました。

● 事業別の概況

外食事業

売上高 60,055百万円

- 業態転換・フランチャイズを含めて31店舗を出店
- 「ロイヤルホスト」は、付加価値の高い商品の提供と既存店への追加設備投資等により、既存店の売上が前年実績を超過。5年ぶりに新規出店
- 「天丼てんや」は、直営13店舗と国内フランチャイズ2店舗、海外フランチャイズ2店舗を出店

コントラクト事業

売上高 30,640百万円

- 法人からの委託等により、空港ターミナルビル、高速道路サービスエリア、大型商業施設、オフィスビル等において、多種多様な飲食店舗を展開
- オフィスビル内、医療介護施設内など、新規に13店舗を出店
- 高速道路、空港ターミナルビル、百貨店の利用者増加に伴い売上が増加

機内食事業

売上高 8,221百万円

- 新規の顧客獲得による売上の増加
- 訪日外国人や国内利用客の増加による搭乗率の上昇によって売上が増加

ホテル事業

売上高 18,348百万円

- 高い顧客満足度を背景に客室稼働率が高水準で推移し、客室単価も前期を上回る
- 5月に「ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸」の運営支援を開始、12月に直営ホテル32店舗目の「リッチモンドホテルなんば大國町」を開業

食品事業

売上高 9,165百万円

- 外食インフラ機能として主に外食事業とコントラクト事業に対する食品製造、購買、物流事業のほか、一部グループ外向け製品を製造
- 外食事業を中心としたグループ内向け食品製造が増加

(注) ここまでに記載の売上高には、その他の営業収入を含めております。

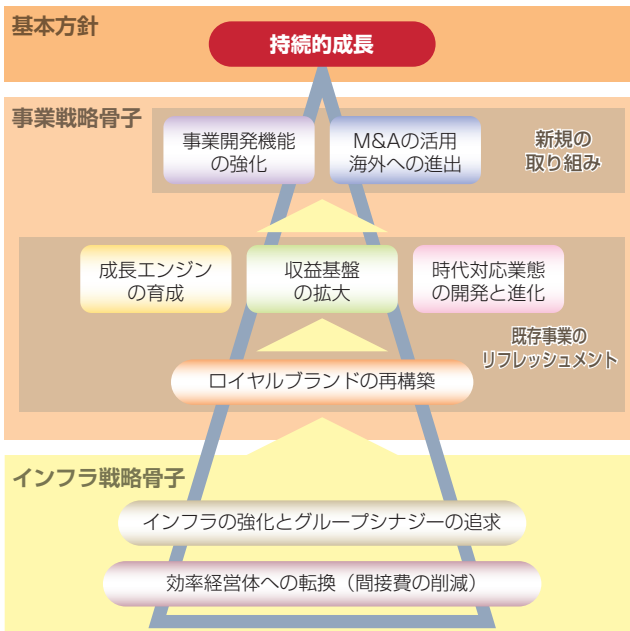
中期経営計画「Fly to 2014」

当社グループでは「ロイヤルグループ経営ビジョン2020」において「お客様の満足」を最大の目標とし、時代の変化にしなやかに対応する日本で一番質の高い“食” & “ホスピタリティ” グループを目指す」というグループビジョンを掲げております。

中期経営計画は、「経営ビジョン」の実現に向けた三段階の中期経営計画の第一段階と位置付け、「持続的成長」「増収増益の確保」「効率経営体への転換」を柱とした各種施策を展開しており、2013年は「成長戦略の確実な実施」に努めてまいりました結果、2年連続での増収増益、5年連続での増益を達成いたしました。

中期経営計画「Fly to 2014」の最終年度となる2014年は、増収増益基調をより確かなものとし、次期中期経営計画における成長シナリオを明確に描いてまいります。

【基本方針と戦略骨子】



ロイヤルブランドの再構築

ロイヤルホストは新しい価値の創造に向けて進化しています

ロイヤルホストは昨年2年連続で既存店売上高前年比100%超えを達成いたしました。2009年より取り組んできた店舗改装、使用食材の品質向上、最新厨房機器の導入等の取り組みが、お客様にご支持いただけた結果と考えております。

また、お客様により快適な空間で、楽しく豊かなお食事をしていただけるレストランとして、2013年11月1日より「ロイヤルホスト全席禁煙化」を実施いたしました。今後もロイヤルホストは、お客様のさまざまな利用動機に応える、地域に根ざしたレストランとして、お客様満足度向上を目指してまいります。



天丼てんや 海外フランチャイズ展開スタート

天丼・天ぷらチェーン「てんや」は、海外フランチャイズとしてタイの大手外食企業であるCENTRAL RESTAURANT GROUPとフランチャイズ契約を締結し、2013年10月、12月と相次いで店舗をオープンし海外展開を開始いたしました。

さらに、インドネシアで外食事業を行うASIA CULINARY INCとフランチャイズ契約を締結し、2014年にジャカルタ市内への1号店のオープン準備を進めております。

今後も天丼てんやは国内外のパートナーとともに信頼のブランドを構築してまいります。



リッチモンドホテルズ ホテル宿泊客満足度8年連続No.1受賞

J.D.パワーアジア・パシフィックが発表した「2013年日本ホテル宿泊客満足度調査」の結果、1泊9,000円～15,000円未満の部門で第1位に選ばれ、2006年より8年連続の第1位獲得となりました。また、JCSI(日本版顧客満足度指数)調査のビジネスホテルカテゴリーにおいても2011年に続き第1位に選ばれております。

リッチモンドホテルは、第三者機関から数々の高評価をいただくなか、高い稼働率に支えられ収益率も向上しております。今後もグループの収益基盤として常にお客様のために進化するホテルを目指してまいります。



DBJ健康経営(ヘルスマネジメント)格付を取得

ロイヤルグループは、日本政策投資銀行(DBJ)の「健康経営格付」で、「従業員の健康配慮への取り組みが優れている」と評価され、小売・外食業界で初となるDBJ健康経営格付を取得いたしました。

高い健康診断受診率などの取り組みを通じて、従業員の健康管理を図ることが質の高い商品とサービスを支えるものとの考えのもと、今後も、日本で一番質の高い“食”＆“ホスピタリティ”グループを目指し、持続的成長の礎となる「人」とその健康を大切に考え、健康経営に取り組んでまいります。



■ 連結財務諸表（要旨）

連結貸借対照表

（単位：百万円）

科 目	前期末	当期末	
	H24.12.31 現在	H25.12.31 現在	
資産の部	流動資産	15,883	15,877
	固定資産	60,875	63,705
	有形固定資産	34,202	36,575
	無形固定資産	789	770
	投資その他の資産	25,882	26,359
	資産合計	76,759	79,583
負債の部	流動負債	18,665	17,046
	固定負債	17,351	19,199
	負債合計	36,017	36,245
純資産の部	株主資本	39,981	41,180
	資本金	13,676	13,676
	資本剰余金	23,708	23,918
	利益剰余金	5,320	6,521
	自己株式	△ 2,724	△ 2,935
	その他の包括利益累計額	154	1,548
	少数株主持分	605	609
	純資産合計	40,741	43,338
	負債・純資産合計	76,759	79,583

● 連結貸借対照表

資産の部

設備投資による有形固定資産の増加や投資有価証券の時価上昇などにより、総資産は2,824百万円増加しました。

負債の部

金融機関からの借入金が増加した一方、リース債務が増加したことなどにより、負債は228百万円増加しました。

純資産の部

当期純利益の計上などにより、純資産は2,596百万円増加しました。1株当たり純資産額は、1,107円98銭（前期末から67円27銭増加）となり、自己資本比率は53.7%（前期末から1.4ポイント上昇）となっております。

● 連結損益計算書

外食事業やホテル事業が牽引し、2年連続の増収増益を達成しました。その他の営業収入を含めた売上高が120,730百万円（前年同期比+5.0%）、経常利益が3,761百万円（前年同期比+33.5%）となっております。

連結株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

当 期 H25.1.1~ H25.12.31	株主資本					その他の包括 利益累計額	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金		
当期首残高	13,676	23,708	5,320	△ 2,724	39,981	154	605	40,741
剰余金の配当	—	—	△ 462	—	△ 462	—	—	△ 462
当期純利益	—	—	1,663	—	1,663	—	—	1,663
自己株式の取得	—	—	—	△ 990	△ 990	—	—	△ 990
自己株式の処分	—	210	—	778	989	—	—	989
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	—	—	—	—	—	1,393	3	1,396
当期変動額合計	—	210	1,200	△ 211	1,199	1,393	3	2,596
当期末残高	13,676	23,918	6,521	△ 2,935	41,180	1,548	609	43,338

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
	H24.1.1 ▶ H24.12.31	H25.1.1 ▶ H25.12.31
売上高	112,899	118,633
売上原価	35,817	38,350
売上総利益	77,081	80,282
その他の営業収入	2,058	2,097
営業総利益	79,139	82,379
販売費及び一般管理費	76,516	78,881
営業利益	2,623	3,498
営業外収益	707	761
営業外費用	512	499
経常利益	2,817	3,761
特別利益	137	210
特別損失	646	675
税金等調整前当期純利益	2,308	3,296
法人税等合計	1,128	1,562
少数株主利益	42	71
当期純利益	1,137	1,663

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
	H24.1.1 ▶ H24.12.31	H25.1.1 ▶ H25.12.31
営業活動による キャッシュ・フロー	6,038	7,377
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,964	△ 5,453
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 4,480	△ 2,031
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△ 406	△ 107
現金及び現金同等物の 期首残高	5,370	4,964
現金及び現金同等物の 期末残高	4,964	4,857

会社の概況

● 会社概要 (平成25年12月31日現在)

会 社 名	ロイヤルホールディングス株式会社 (英文名 ROYAL HOLDINGS Co., Ltd.)
設 立	昭和25年4月
資 本 金	13,676,179,700円
従 業 員 数	連結 2,386名
東 京 本 部	東京都世田谷区桜新町一丁目34番6号
本 社	福岡県福岡市博多区那珂三丁目28番5号
事 業 内 容	グループの経営を統括・管理する 純粋持株会社

● 役 員 (平成26年3月27日現在)

取締役

代表取締役社長	菊 地 唯 夫
専 務 取 締 役	矢 崎 精 二
取 締 役	野々村 彰 人
取 締 役	黒 須 康 宏
取 締 役	木 村 公 篤
取 締 役	貴 堂 聡
取締役相談役	富 永 真 理
社 外 取 締 役	末 吉 紀 雄

監査役

常 勤 監 査 役	浦 一 馬
常 勤 監 査 役	小 村 吾 郎
社 外 監 査 役	久保田 康 史
社 外 監 査 役	渡 辺 佳 夫

株主優待制度 詳細は <http://www.royal-holdings.co.jp/ir/stockholder/>

対 象	毎年6月末および12月末現在の株主名簿に記載された 100株以上ご所有の株主の皆様。
内 容	6月末の株主様には9月中旬に、12月末の株主様には3 月下旬にそれぞれ、株式数に応じて「株主ご優待券」を ご送付申し上げます。

ご所有株式数	株主ご優待券
100株以上500株未満	年間 1,000円分 (500円×1枚×2回)
500株以上1,000株未満	年間 10,000円分 (500円×10枚×2回)
1,000株以上 (一律)	年間 24,000円分 (500円×24枚×2回)

株式の情報

平成25年12月31日現在

Shareholders Information.

株式の状況

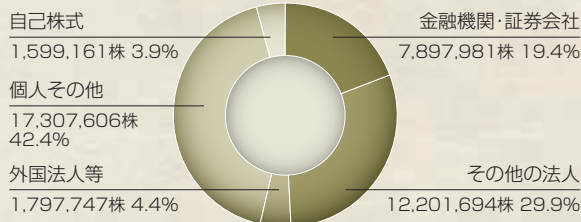
発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	40,804,189株
単元株式数	100株
株主数	19,880名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
キルロイ興産株式会社	3,174	8.10
公益財団法人江頭ホスピタリティ事業振興財団	2,452	6.25
株式会社ダスキン	1,400	3.57
日本生命保険相互会社	975	2.49
コカ・コーラウエスト株式会社	962	2.45
株式会社西日本シティ銀行	955	2.44
株式会社福岡銀行	833	2.13
ハンナン株式会社	692	1.77
株式会社三越伊勢丹	681	1.74
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	640	1.63

(注) 当社は、自己株式1,599千株を所有しております。上記の持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当金 毎年12月31日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-782-031
公告方法	当社のホームページに掲載いたします。 (http://www.royal-holdings.co.jp/)
上場取引所	東京証券取引所第一部 福岡証券取引所

株式に関する各種手続き

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求・買増請求等の各種お手続きは、口座を開設されている証券会社宛にお願いいたします。

証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

※平成22年5月1日に株式会社テン コーポレーションとの株式交換に伴う株式の割当により当社株主となられた株主様のうち、証券会社に口座を開設されていない株主様のご連絡先は、以下のとおりです。

特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-288-324

IRサイトのご案内

アドレス <http://www.royal-holdings.co.jp/ir/>

ロイヤルホールディングス株式会社

〒154-8584 東京都世田谷区桜新町一丁目34番6号
電話：(03) 5707-8830



この冊子は、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています